

バイオインフォマティクス講習会 Vol.2 《3 日間》

近年、次世代シーケンサー（NGS: Next Generation Sequencer）の普及により、膨大な遺伝子データの取得が容易になりました。一方で、これらのデータを正しく解析し、有用な生物学的知見へとつなげるためには、UNIX 環境での作業や Python などのプログラミングスキル、さらに各種データベースの活用方法を理解することが不可欠です。

本講習会では、データ解析の初心者を対象に、UNIX 系アプリケーションの導入から Python による解析環境構築、さらに次世代シーケンサーから得られるデータを用いた実践的な解析手法までを段階的に学びます。実際の解析例を通して、遺伝子発現パターン解析の基礎を身につけ、今後の研究活動に活かすことを目的としています。

皆様のご参加をお待ちしております。

日 時

令和 7 年 12 月 10 日(水)～12 日(金) 9:30～16:30（初日 13:00 開始）

場 所

地方独立行政法人 京都市産業技術研究所 7 階 京都バイオ計測センター
(京都市下京区中堂寺栗田町 91 京都リサーチパーク 9 号館南棟)

内 容

1 日目 ① 13:00～16:30

データ解析のための環境整備 (Ubuntu 環境設定、NGS 解析関連アプリケーションのインストール)

2 日目 ② 9:30～12:00

データ解析のための環境整備 2 (Python による統計処理の基礎)

③ 13:00～16:30

次世代シーケンサーからのデータ解析 (データベースの活用)

3 日目 ④ 9:30～16:30

次世代シーケンサーからのデータ解析 2 (遺伝子発現パターン解析)

■ 講師 ①② (地独) 京都市産業技術研究所 プロジェクト推進室長 山本 佳宏

③④ 独立行政法人製品評価技術基盤機構 バイオテクノロジーセンター

バイオデジタル推進課 主査 仲里 猛留 氏

【参加にあたって】

- ・原則 3 日間すべての参加をお願いします。
- ・本講習には OS インストール作業は含まれません。
- ・当日は主催者側で PC をご用意いたします。PC 持参をご希望の場合は、Ubuntu 22.04 LTS を事前にクリーンインストールのうえ、ご準備ください。
- ・①②は NGS 環境構築実習を行います。

開 催 形 式

対面形式のみ

対 象

構造解析に関心のある研究者・学生・技術者（企業・大学・公的研究機関等）

定 員

10 名 ※抽選方式

参 加 費

無料

申込方法

こちらのフォームからお申込みください。

URL ▶ ▶ ▶ <https://tc-kyoto.or.jp/kist-bic-bioinformatics-202502/>

※令和 7 年 11 月 28 日(金)までに申込者に抽選結果をメールでお知らせします。

申込締切

令和 7 年 11 月 26 日(水)



参加申込フォーム

主 催 京都市、(地独)京都市産業技術研究所
共 催 (独) 日本貿易振興機構 (JETRO)、バイオコミュニティ関西
協 力 京都バイオ計測センターユーザーネットワーク、Biock 分析・計測分科会

お問い合わせ先: 京都バイオ計測センター TEL:075-326-6101 e-mail : kist-bic@tc-kyoto.or.jp